

3.12.1 情報通信振興部門 創業支援グループ

グループリーダー 松本昌裕 ほか2名

情報通信ベンチャーに対する情報提供及び交流の推進

概要

ウェブ等のオンライン・メディアやリアルな対面の場を最大限活用しつつ、情報通信ベンチャーの事業化に役立つ参考情報を提供することにより、困難ではあるが有望性があり、かつ、新規性・波及性のある技術やサービスの事業化を支援する。

(1) インターネット上での情報提供

ウェブページ「情報通信ベンチャー支援センター」〈<http://www.venture.nict.go.jp/>〉を開設し、情報通信ベンチャー及び創業を目指す個人を対象に必要な情報を提供している。

また、情報通信ベンチャー企業と大手企業等との交流の場を提供する会員制の「情報通信ベンチャー交流ネットワーク」を開設している。

(2) イベント・セミナーの開催

リアルな場でのイベント・セミナー（「NICT起業家経営塾」、「ビジネスプラン発表会」、「ICTベンチャー知的財産戦略セミナー」等）を開催し、起業に必要な知識の習得やベンチャー企業と大手企業の交流・マッチングを支援している。

また、若年人材に対しICTベンチャー起業の意義と魅力を理解してもらうため、「頑張るICT高専学生応援プログラム」に基づき、各地の高等専門学校と連携して講演会・セミナー等を開催している。

平成20年度の成果

(1) ウェブページ「情報通信ベンチャー支援センター」において、起業ステージに即したNICTの支援施策全体を分かりやすく紹介するとともに、成功ベンチャーへのインタビュー記事やICT専門家によるブログなどのコンテンツを随時追加・更新し、情報通信ベンチャーに有益でタイムリーな情報の提供に努めた。こうした取り組みの結果、前年度を上回る約456万件のアクセスを確保した。

(2) 情報通信ベンチャー交流ネットワーク会員に対するイベント情報の配信や勉強会（「情報通信ベンチャー交流ネットワークサロン」）の開催による交流の場の提供などにより、会員数が70名増加し、777名（平成21年3月末）となった。

「ICTベンチャービジネスの展望～起業から成長へのフェーズを探る～」を基調テーマに、「情報通信ベンチャーフォーラム2009」を開催し、情報通信ビジネスに関する最新動向等の理解を広めるとともに、会員やITベンチャー関係者等の交流を図った。

(3) 情報通信ベンチャーに対し経営知識等を講義する「起業家経営塾」、「ICTベンチャー知的財産戦略セミナー」、「情報通信ベンチャービジネスプラン発表会」、「頑張るICT高専学生応援プログラム」に基づく講演会・セミナー等を開催した。

また、総務省の本省・地方総合通信局等、地方自治体等と連携した地域連携イベントとして、「ICTベンチャー知的財産戦略セミナー」（4か所）及び地域版「起業家経営塾」（8か所）を札幌、福岡等計12か所で開催し、地域におけるイベントの充実を図った。

これらを合わせて、年度内に40回のイベントを開催し、延べ3,307名の参加者があった。

(4) ウェブサイトにおいてサイト利用者にアンケート調査を実施するとともに、イベントごとに参加者にアンケート調査を行い、得られた意見要望を業務運営やイベントのテーマ選定に反映させた。また、情報通信ベンチャーを支援する企業の専門家等との意見交換を実施し、情報通信ベンチャーへの情報提供業務を運営する上での改善の参考とした。